

事業の概況(単体)

◎業績等の概要

当中間期の業績は、次のとおりとなりました。

預金は、営業活動の強化により法人及び個人預金が順調に増加した結果、銀行・信託勘定合計で前年度末比536億円増加の1兆9,191億円となりました。

貸出金は、アパートローンや住宅ローンを中心とした個人向けローン及び事業性貸出が増加した結果、銀行・信託勘定合計で前年度末比305億円増加の1兆3,444億円となりました。

有価証券は、国債、地方債など公共債を中心に市場動向を睨みながら、資金の効率的な運用と安定収益の確保に努めた結果、前年度末比218億円減少の5,836億円となりました。

経常収益は、貸出金利息は減少したものの、有価証券利息配当金、役務取引等収益及び株式等売却益の増加などにより、前年同期比15億82百万円増加の195億19百万円となりました。

経常費用は、与信費用の減少などにより、前年同期比7億19百万円減少の133億73百万円となりました。

経常利益は、前年同期比23億2百万円増加の61億46百万円となりました。また、中間純利益は、前年同期比10億63百万円増加の41億8百万円となりました。

◎主な経営指標などの推移(単体)

[単位：百万円]

	平成25年9月	平成26年9月	平成27年9月	平成26年3月	平成27年3月
経常収益	18,760	17,936	19,519	37,159	36,422
うち信託報酬	254	169	203	488	371
経常利益	3,779	3,843	6,146	8,562	9,942
中間純利益	2,168	3,044	4,108	—	—
当期純利益	—	—	—	4,596	6,793
資本金	22,725	22,725	22,725	22,725	22,725
発行済株式総数	千株	21,000	21,000	21,000	21,000
純資産額	121,442	126,833	134,766	122,767	134,256
総資産額	1,919,649	2,002,777	2,076,493	1,898,159	2,023,600
預金残高	1,704,729	1,792,784	1,857,346	1,687,598	1,804,634
貸出金残高	1,212,149	1,275,373	1,341,588	1,247,454	1,310,776
有価証券残高	601,244	574,594	583,663	577,323	605,558
1株当たり中間純利益金額	円	106.11	150.03	204.36	—
1株当たり当期純利益金額	円	—	—	225.46	334.77
1株当たり配当額	円	32.50	35.00	35.00	65.00
自己資本比率	%	6.31	6.32	6.47	6.45
単体自己資本比率(国内基準)	%	11.94	11.46	11.16	11.66
従業員数	人	1,102	1,100	1,092	1,073
[外、平均臨時従業員数]		[508]	[530]	[507]	[519]
信託財産額		72,210	61,546	61,871	67,577
信託勘定貸出金残高		4,717	3,518	2,839	3,964

[注] 1. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 自己資本比率は、((中間)期末純資産の部合計 - (中間)期末新株予約権)を(中間)期末資産の部の合計で除して算出しております。

3. 単体自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく平成18年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は国内基準を採用しております。平成26年3月期よりパーセルⅢを適用しております。

4. 平均臨時従業員数は、パートタイマー及び嘱託契約の従業員を含め、派遣社員を除いて記載しております。

5. 平均臨時従業員数は、当行の所定労働時間に換算して算出しております。